



## 平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日本色材工業研究所  
コード番号 4920 URL <http://www.shikizai.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営統括本部長  
四半期報告書提出予定日 平成28年1月13日

(氏名) 奥村 浩士  
(氏名) 土谷 康彦

TEL 03-3456-0561

配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	6,114	14.4	224	—	162	—	62	—
27年2月期第3四半期	5,344	2.9	△179	—	△203	—	△176	—

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 44百万円 (—%) 27年2月期第3四半期 △209百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	14.40	—
27年2月期第3四半期	△40.88	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第3四半期	9,088	1,682	18.5	390.16
27年2月期	8,917	1,638	18.4	379.84

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 1,682百万円 27年2月期 1,638百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年2月期	—	0.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,643	17.0	504	—	433	—	224	—	52.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成28年1月12日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期3Q	4,318,444 株	27年2月期	4,318,444 株
② 期末自己株式数	28年2月期3Q	7,236 株	27年2月期	5,672 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期3Q	4,311,663 株	27年2月期3Q	4,312,772 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき記載しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想とは異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費は総じて横ばいで推移し、足踏み状態が続いておりますが、円安の進行により輸出関連企業を中心とした企業収益は堅調に推移しており、また、インバウンド需要の取り込み等により、緩やかな回復基調を維持しております。

海外の経済情勢は、米国においては景気の拡大基調が続いており、雇用・所得環境の改善により個人消費は底堅く推移しております。欧州経済は、シリアからの難民問題や11月13日に発生したパリ同時多発テロ事件の影響が懸念されておりますが、足許の経済は全体的には緩やかな景気回復基調が持続しております。アジア・新興国経済は、総じて景気の緩やかな減速が続いており、経済成長が一段と鈍化しております。

このような経済情勢のもと、当社グループは、企画提案型営業を強化すべく、営業および研究の組織体制を見直すとともに、徹底した経費削減にも取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高6,114百万円（前年同期比14.4%増）、営業利益224百万円（前年同期は営業損失179百万円）、経常利益162百万円（前年同期は経常損失203百万円）、四半期純利益は62百万円（前年同期は四半期純損失176百万円）となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりです。

（日本）

国内の化粧品受託製造市場は、化粧品メーカーによるアウトソーシングの拡大、異業種企業による化粧品市場参入などを背景に、堅調に推移しております。

このような事業環境のもと、当社の化粧品事業は、国内・海外からの新製品の受注が好調に推移し、主にアイシャドウ・チーク類、ファンデーション類、ライナー・マスカラ類が、前年同期を上回ったことにより、前年同期と比較して増収となりました。営業利益については、増収に伴う利益嵩上げと、役員報酬の一部カットをはじめとする全社あげての経費削減への取り組みを行った結果、前年同期と比較して増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,995百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は221百万円（前年同期は営業損失69百万円）となりました。

（仏国）

子会社THEPENIER PHARMA INDUSTRIE S.A.S.（以下、テプニエ社という）の所在する欧州においては、シリアからの難民問題や11月13日に発生したパリ同時多発テロ事件の影響が懸念されておりますが、足許の経済は雇用環境の改善及び個人消費の拡大を背景に、全体的には緩やかな景気回復基調が持続しております。

このような事業環境のもと、テプニエ社では、前年同期と比較して、スキンケア製品、メイクアップ製品が順調であったことに加え、医薬製品の大口受注の生産も順調に進捗し、前年同期と比較して大幅な増収となり、営業損失については、損失幅が大幅に縮小いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,209百万円（前年同期比44.8%増）、営業損失は3百万円（前年同期は営業損失85百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、171百万円増加し、9,088百万円となりました。総資産の増加は、流動資産が432百万円増加し、固定資産が260百万円減少したことによるものであります。流動資産の主な増加要因は、現金及び預金が123百万円、たな卸資産が338百万円、その他が69百万円増加し、受取手形及び売掛金が99百万円減少したことによるものであります。固定資産の主な減少要因は、投資有価証券が57百万円増加し、建物及び構築物が185百万円、機械装置及び運搬具が115百万円減少したことによるものであります。

一方、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、127百万円増加し、7,406百万円となりました。負債合計の増加は、流動負債が414百万円増加し、固定負債が286百万円減少したことによるものであります。流動負債の主な増加要因は、支払手形及び買掛金が345百万円、未払法人税等が109百万円、賞与引当金が121百万円増加し、短期借入金金が141百万円減少したことによるものであります。固定負債の主な減少要因は、長期借入金金が276百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、43百万円増加し、1,682百万円となりました。主な増加要因は、株主資本が、当第3四半期連結累計期間の四半期純利益により62百万円増加し、その他の包括利益累計額が17百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、平成27年9月29日に公表いたしました平成28年2月期の通期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益及び純資産に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	755,043	878,519
受取手形及び売掛金	1,671,357	1,571,709
たな卸資産	1,118,194	1,457,042
その他	168,342	237,996
貸倒引当金	△1,791	△1,752
流動資産合計	3,711,145	4,143,516
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,294,351	2,109,295
機械装置及び運搬具(純額)	642,669	527,136
土地	1,364,138	1,363,292
その他(純額)	101,248	101,854
有形固定資産合計	4,402,407	4,101,578
無形固定資産	255,714	247,932
投資その他の資産		
投資有価証券	298,413	355,914
その他	312,842	300,822
貸倒引当金	△63,228	△60,876
投資その他の資産合計	548,026	595,860
固定資産合計	5,206,149	4,945,371
資産合計	8,917,294	9,088,888
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	973,573	1,318,891
短期借入金	1,932,991	1,791,563
未払法人税等	—	109,703
賞与引当金	51,540	172,892
その他	827,273	806,729
流動負債合計	3,785,379	4,199,781
固定負債		
長期借入金	2,899,477	2,623,291
役員退職慰労引当金	150,090	150,090
退職給付に係る負債	107,666	95,401
その他	336,499	338,268
固定負債合計	3,493,733	3,207,051
負債合計	7,279,112	7,406,832
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	552,749	552,749
資本剰余金	781,854	781,854
利益剰余金	139,148	201,236
自己株式	△2,150	△2,649
株主資本合計	1,471,602	1,533,191
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103,521	146,509
繰延ヘッジ損益	△879	△193
為替換算調整勘定	63,937	2,548
その他の包括利益累計額合計	166,579	148,865
純資産合計	1,638,182	1,682,056
負債純資産合計	8,917,294	9,088,888

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	5,344,029	6,114,829
売上原価	4,699,094	5,096,644
売上総利益	644,934	1,018,185
販売費及び一般管理費	824,769	794,022
営業利益又は営業損失(△)	△179,834	224,162
営業外収益		
受取利息	323	779
受取配当金	4,606	5,280
為替差益	18,933	—
その他	6,143	8,734
営業外収益合計	30,006	14,794
営業外費用		
支払利息	52,866	63,576
その他	1,125	12,630
営業外費用合計	53,992	76,206
経常利益又は経常損失(△)	△203,820	162,750
特別利益		
固定資産売却益	461	97
補助金収入	13,942	—
特別利益合計	14,403	97
特別損失		
固定資産除却損	611	1,888
訴訟関連損失	20,913	—
工場閉鎖損失	—	3,066
和解金	—	15,296
特別損失合計	21,524	20,251
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△210,941	142,596
法人税、住民税及び事業税	9,932	108,278
法人税等還付税額	△18,821	△19,801
法人税等調整額	△25,753	△7,967
法人税等合計	△34,642	80,509
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△176,298	62,087
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△176,298	62,087

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△176,298	62,087
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,810	42,988
繰延ヘッジ損益	1,402	686
為替換算調整勘定	△48,206	△61,389
その他の包括利益合計	△32,993	△17,714
四半期包括利益	△209,292	44,373
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△209,292	44,373
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,510,074	833,954	5,344,029	—	5,344,029
セグメント間の内部売上高又は 振替高	124,404	1,025	125,430	△125,430	—
計	4,634,479	834,980	5,469,459	△125,430	5,344,029
セグメント損失(△)	△69,119	△85,879	△154,998	△24,836	△179,834

(注) 1. セグメント損失の調整額△24,836千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,907,098	1,207,730	6,114,829	—	6,114,829
セグメント間の内部売上高又は 振替高	88,226	1,556	89,783	△89,783	—
計	4,995,325	1,209,287	6,204,613	△89,783	6,114,829
セグメント利益又は損失(△)	221,719	△3,808	217,910	6,251	224,162

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額6,251千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。